

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山市の歴史博物館または資料館の設置について
- 新中学校の地下横断歩道は本当に必要なのでしょうか



富士根信子議員

議 勝山には、1つの施設で歴史を知り、理解でき、調査研究や資料の保管展示、解説等がしてある公的な博物館がない。学芸員を常駐し、市民への教育普及につながり、観光で訪れた人々に市の歴史を伝える勝山歴史総合博物館の設置を望む。

理 勝山市は、各時代の文化財をそれぞれのふさわしい施設で活用し、分散型の博物館施設を通じて地域全体の歴史や文化を伝えている。新たな博物館を設置する予定はなく、エコミュージアムの理念にある「地域まるごと博物館」の考えを基本とする。また、各施設展示をネット上で1つに集約し紹介するような方法も研究したい。今後も地域の自然や歴史の魅力を発信し、さらなる向上に努める。

議 市民から、地下横断歩道は危険で人口減少・高齢化社会となっている現状において、維持管理費がかかる為に市民税が上がるのではないかと意見を聞いている。

勝山高校正門に隣接して新中学校の正門を設置し、その周辺を整備して送迎バスや保護者の送迎場所を設置してはいかがか。

また、ジオアリーナまでは校舎から国道157号の横断歩道まで道路整備をして移動してはどうか。理事者側の一方的な主張ではなく、市民の納得のいく案を検討し、公開してほしい。

理 体育の授業や部活動、スクールバスの発着場所としてジオアリーナの活用を考えた際に、学校とジオアリーナ間を安全かつスムーズに行き来できる経路として地下横断歩道の設置を勝山市立中学校再編計画から検討してきた。以来市議会をはじめ、保護者説明会や市民説明会、生徒や教職員を対象とした意見交換会、再編準備委員会等で、地下横断歩道の必要性や安全性、利便性等について多くの議論やご意見を積み重ね現在の状況に至っている。これらを踏まえて建設に係る予算をお認めいただいたものと承知している。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 令和9年開校後の3中学校跡地利用について
- マイナ保険証と資格確認書の選択機会の確保とその周知について

その他の質問

・食料自給率から見る防災対策と有事の防災対策について・上水道の加入金について・新型コロナ(レプリコン)ワクチン「コストype筋注」について・市役所職員のメンタルケアについて



李 江嵐議員

議 現在の3中学校の総面積のうち、借地面積はどれだけで、割合は何%か。年間で支払っている借地費用はいくらか。年によって変動はあるか。令和9年4月以降は借地のままか、買い上げるのか、予定と現状についての詳しい説明を求める。

また、これからの公共施設の方向性を決める過程として、市民参加ミーティングの立ち上げを検討していただけるか。

理 3中学校の総面積は、賃貸契約書と市の財産台帳上の面積合わせて10万8,126㎡。そのうち借地面積は8万6,855㎡で割合は約80%。借地費用は昨年度が2,855万8,000円。今年は2,899万3,000円を予定。借地契約は税額を基準としたものや消費者物価指数を基準としたものがあり、基準額の変動に伴い、支払額も上下する。基本的に借地については購入させていただきたいと考えているが、地権者の意向を確認しながら丁寧に対応してまいりたい。

跡地利用について具体的な方針が決定したら市議会への説明とともに、中学校校区ごとに市民の意見をお聞きしていく。

議 マイナンバーカードに保険証が紐づいている人には、令和6年12月2日以降は紙の保険証が発行されない。紙媒体(資格確認書)の必要性を感じる方への措置として、10月以降からマイナ保険証利用登録の解除手続きができるようになる。これを広報誌の掲載や手紙を出す等市民に周知し、手続きを必要とする方には具体的に分かりやすくご案内する事は行政機関としての責務だと考える。「周知の徹底と選択の機会の確保」に対する、市の見解を伺う。

理 マイナ保険証利用登録の解除は、本人からの解除申請を各保険者が受け付ける形となる。国のスケジュールを確認し、受付可能となり次第、市ホームページや広報等で周知する。